



Gilmore ギルモア

組立前の確認事項チェックリスト

■組立をはじめる前に。。。

●組立をはじめる前に、組立説明書（本書）をよく読み、内容を理解してから、組立を開始してください。それがスムーズに作業を進めるコツでもあり、簡単にきれいに組み立てるポイントです。

●使用している木材はツーバイ材ですが、天然の木なので、割れやそり、ヤニ、ささくれなどが発生する場合があります。木の特性を十分理解した上で、組み立ててください。また、木肌がきれいな面を外側にするときれいに仕上がります。

■パーツの形状、数量を確認してください。

●パーツリストを参考に、数量がすべてそろっているかどうか、確認してください。万が一、不足している場合はお電話ください。（TEL:011-788-9464）すぐに発送いたします。

●釘や金物は十分な数量を用意していますが、万一足りなくなった場合は、最寄の金物店等でお買い求めください。また、当社で販売もいたしておりますので、お気軽にご用命ください。

■設置場所の確認

●以下のところへの設置は避けましょう。



■組立に必要な道具



■道具を使うときは、周囲に注意し、安全を心がけましょう。

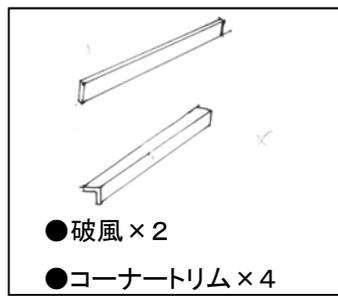
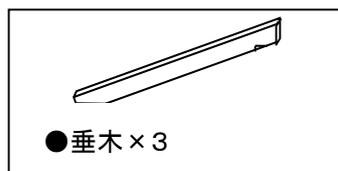
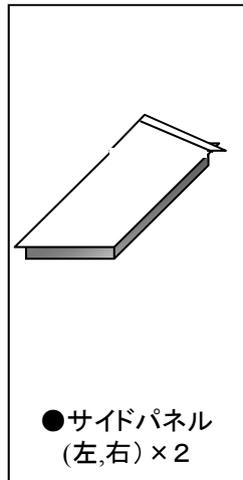
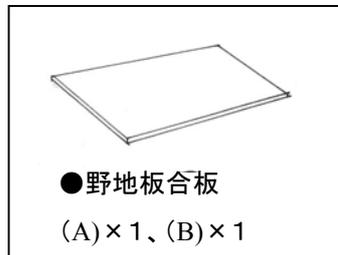
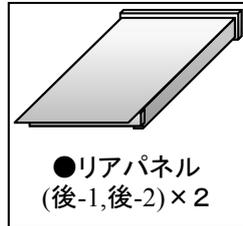
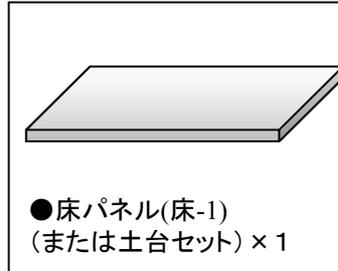
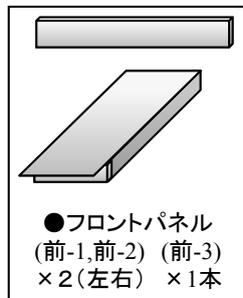
■さあ、あなただけのシンプルホームキットの組み立てをはじめましょう！



パーツリスト

■パーツの種類、数量をご確認ください

●梱包をあげ、下記のパーツや数量がそろっているかご確認ください。



【金物・その他】

- アスファルトシングル
- ルーフィング
- ドア本体 ×2
- ドア補強Lアングル
- ドアハンドルセット
- 75mmビス ×1箱
- 41mmビス ×1袋
- 40mmスリムビス ×1袋
- 25mmスリムビス ×1袋
- シーリングネール ×1袋
- モエン釘 ×1袋
- ブチルテープ ×1巻

【オプション】

木製窓・花箱・
シャッターセット

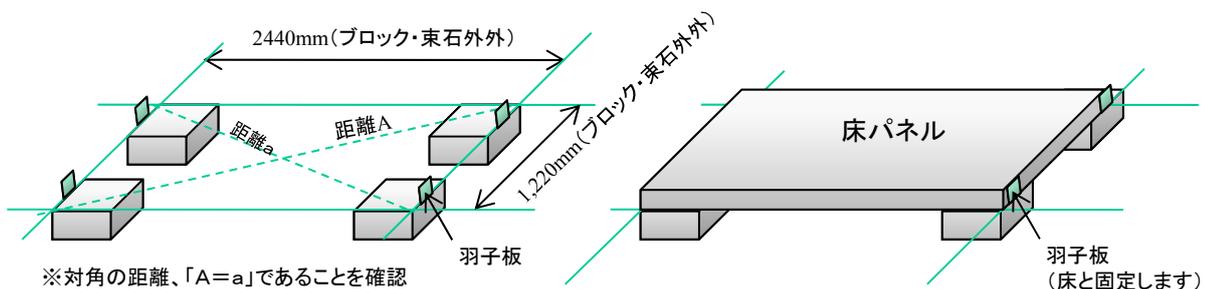
※パーツの数量が足りない場合や、内容がわからない場合は、お電話ください。
(TEL: 0 1 1 - 7 8 8 - 9 4 6 4)

基礎の準備

■東石・ブロック基礎

【ポイント】

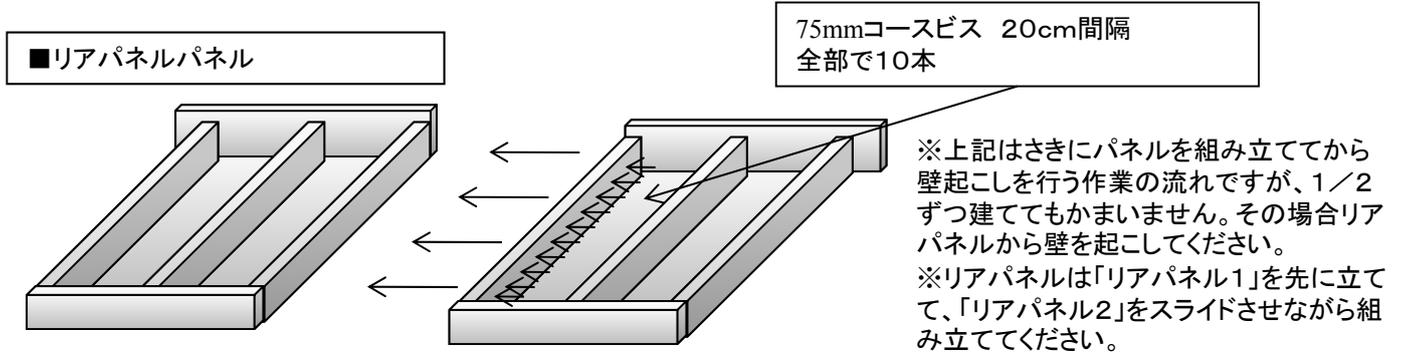
- ・ブロック・東石の上面は、水平であることを確認してください。
- ・基礎が直角かどうか対角をはかり、ねじれがないかを確認してください。



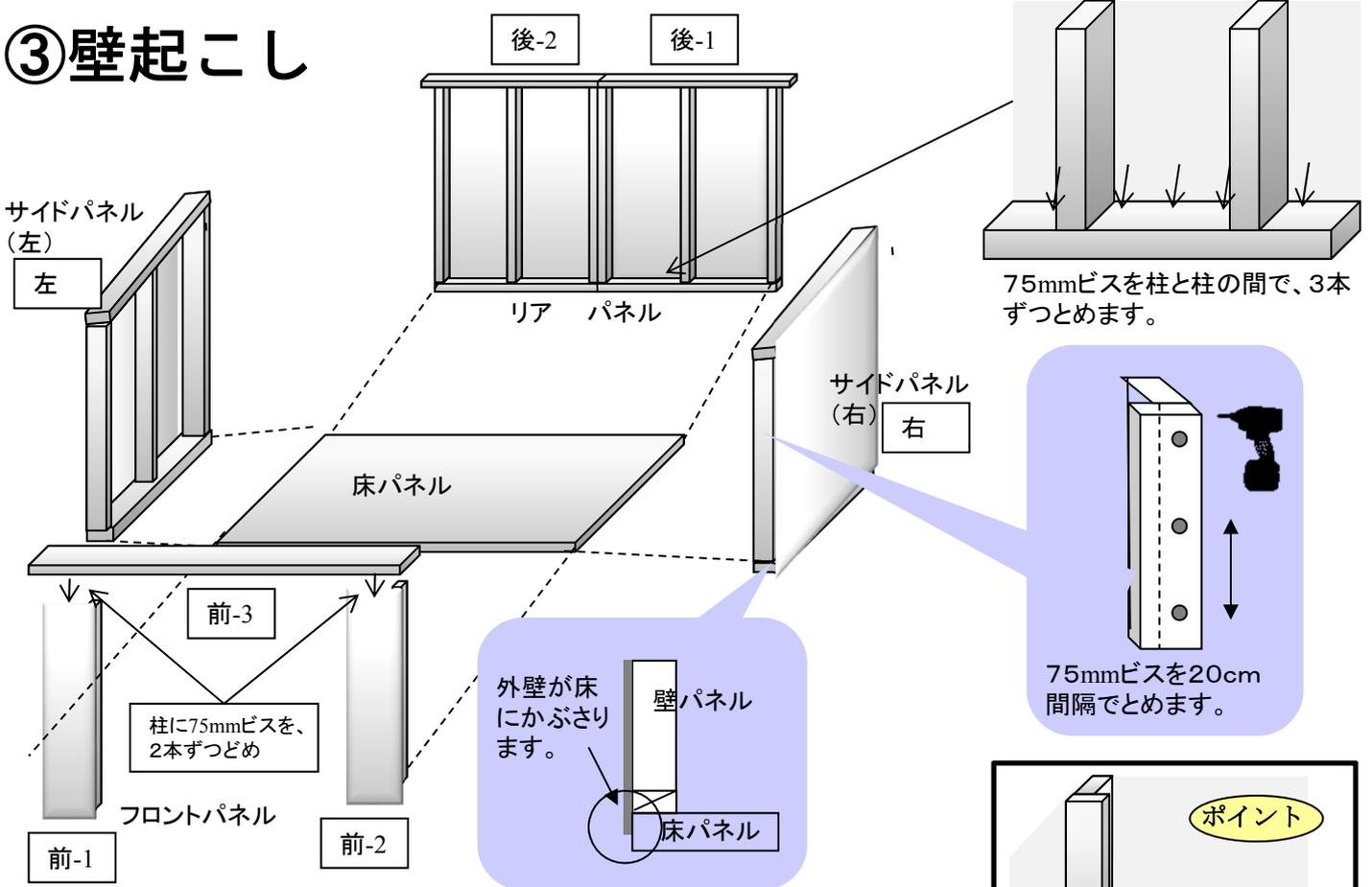
②壁パネルの組立

【ポイント】

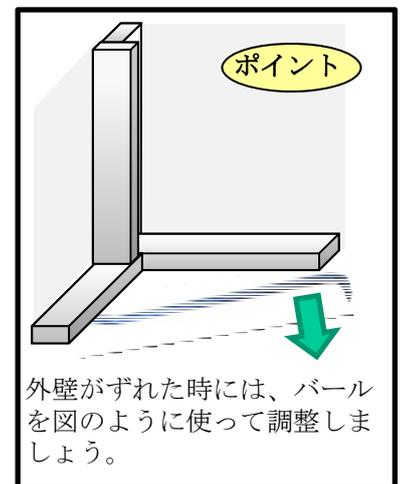
・2分割で梱包されているリアパネルと、フロントパネルを組み立てます。



③壁起こし



内側から、床・壁のスタッドに20センチ間隔で75ミリビスを打ちます。



垂木・野地板の組立

後面パネル側

垂木

正面パネル側

垂木を「正面パネル」と「後面パネル」にかけ、75mmビスでとめます。

垂木を3本ならべ、それぞれビス止めをします。

左から

右から

垂木の角が上枠の端から出ないように印に合わせながら、75ミリビスを3本ずつ止めます。

下から

75mmビスで3箇所とめます。

左から

右から

下から

75mmビスで4箇所とめます。

下枠から1本、

垂木の上から2本

直角

野地板B (2440x497)

野地板A (2440x910)

1407

2440

出ない

『野地板』を15センチ間隔で41ミリビスを打ちます。

上枠から『野地板』が出ないようにします。

屋根野地板の立組



軒に『破風』を当て、長い部分に印を付けます。

※破風には「前」と「後」があります。(後は角度付)



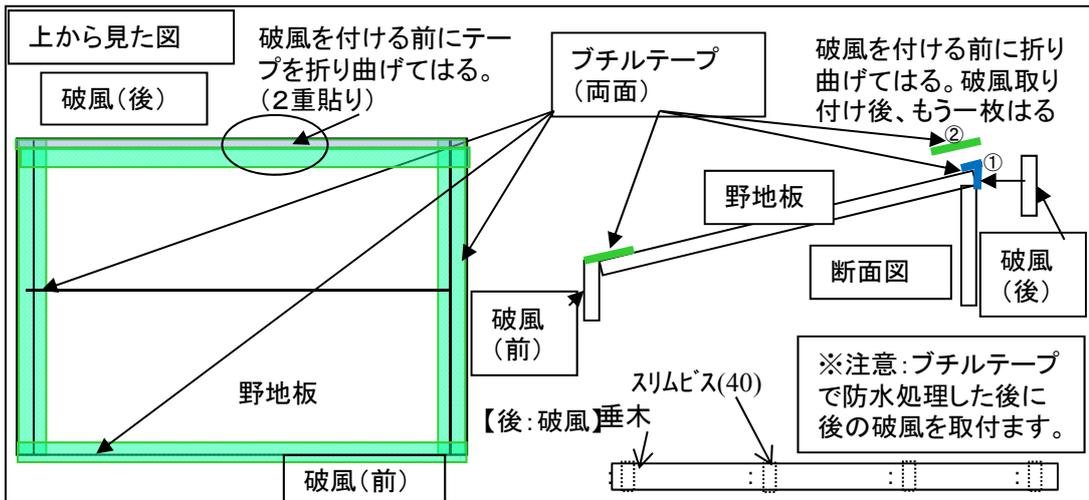
印のところを直角にカットします。



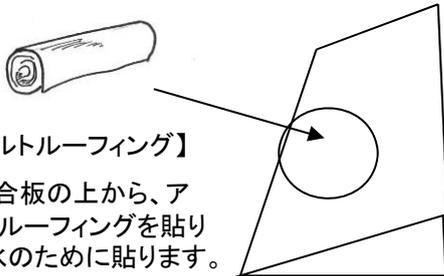
しっかり押さえ、スリム40ミリのビスで止めます。

【前:破風】
垂木

※注意:まず前の破風を取り付けます。



破風・トリムと野地板の隙間に『ブチルテープ(両面)』を貼ります。軒先は、特に丁寧に貼りましょう。



【アスファルトルーフィング】
野路OSB合板の上から、アスファルトルーフィングを貼ります。防水のために貼ります。

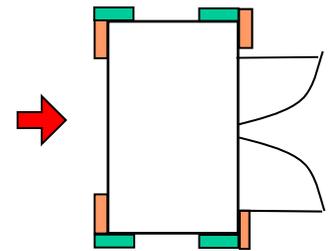


ハンマータッカー

コーナートリムの取付け

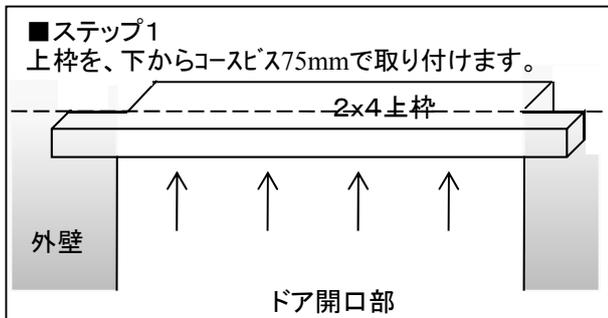


動かないようにしっかり押さえスリムビス25mmで20cmセンチ間隔に止めます。



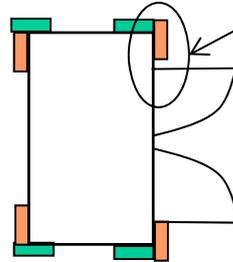
他の3ヶ所も同じように止めます。

トリムとドアの取付

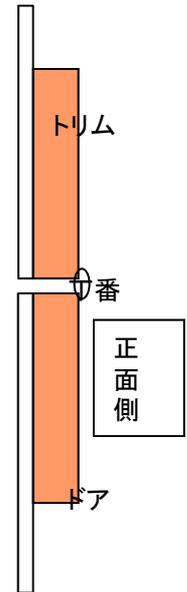


側面側

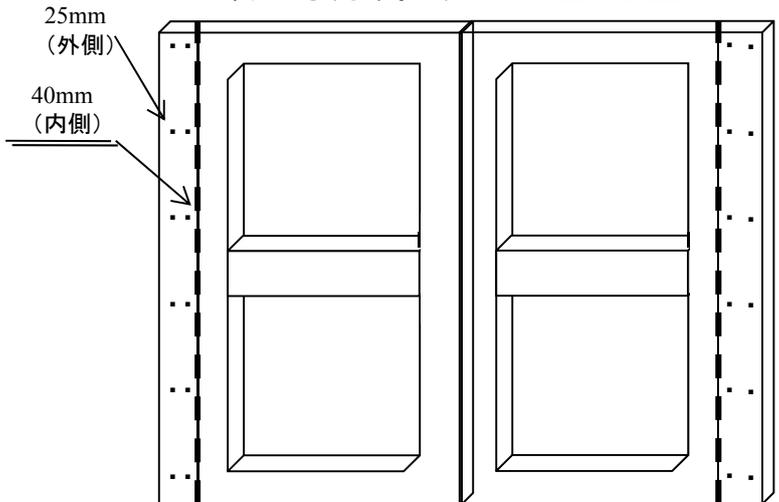
後ろ角は、エル型のトリムをそのまま外壁面に取り付けます。



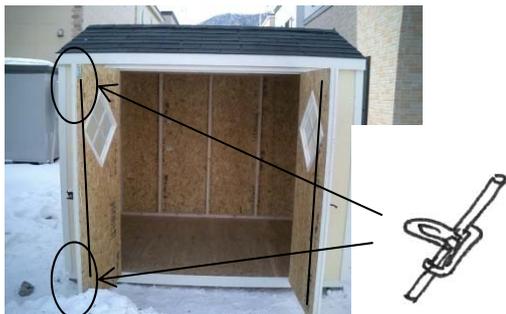
正面のコーナートリムはドアと一体になっています。



ドアを取り付けます。ピアノ丁番がついているほうが吊元になります。スリムビス40mmと25mm

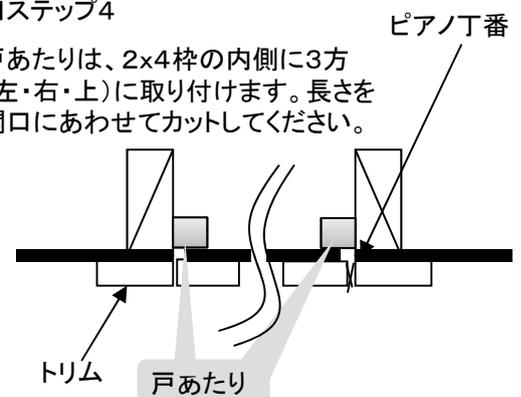


左ドア裏側には、フランス落とし金物を上下に取り付けます。

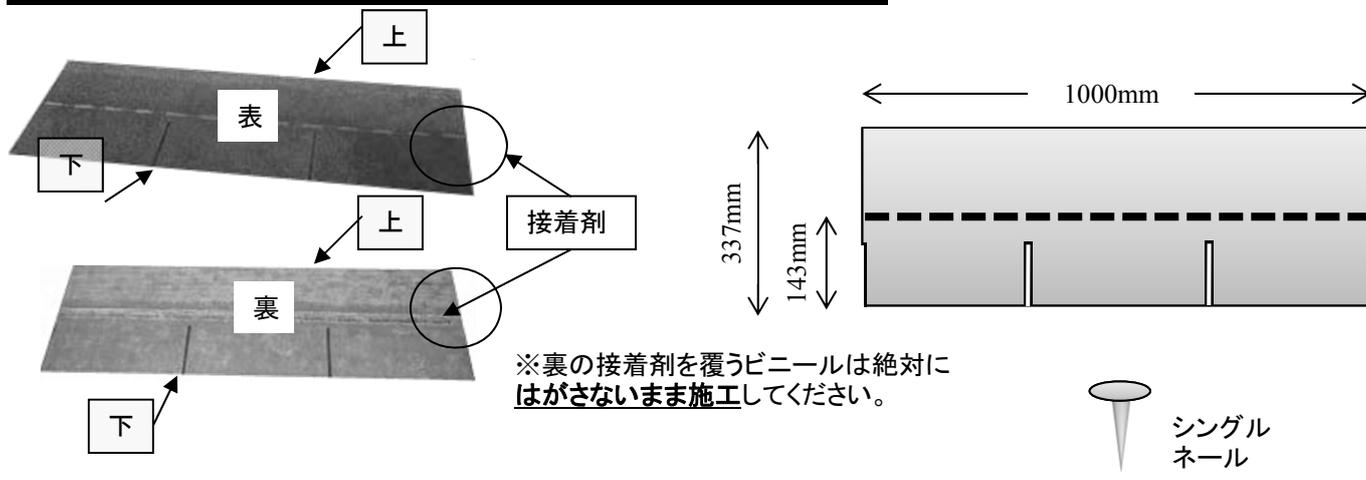


■ステップ4

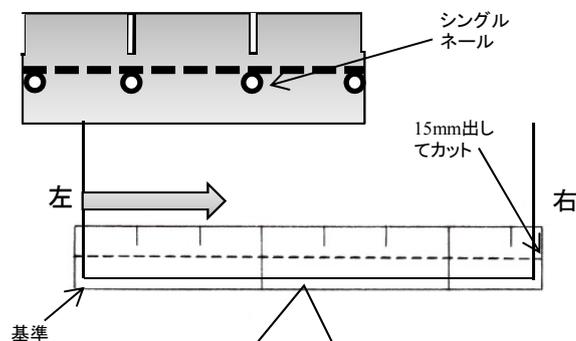
戸あたりは、2x4枠の内側に3方(左・右・上)に取り付けます。長さを開口にあわせてカットしてください。



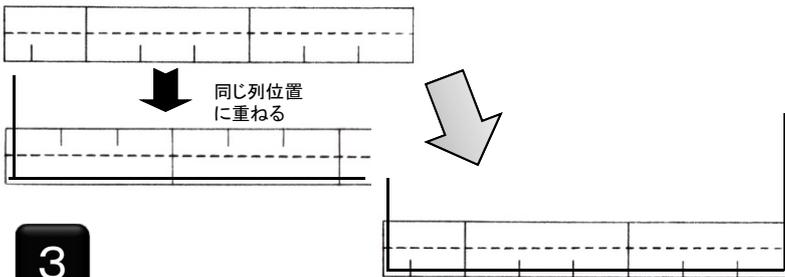
アスファルトシングル(オークリッジプロ クラシック)【各部名称および寸法】



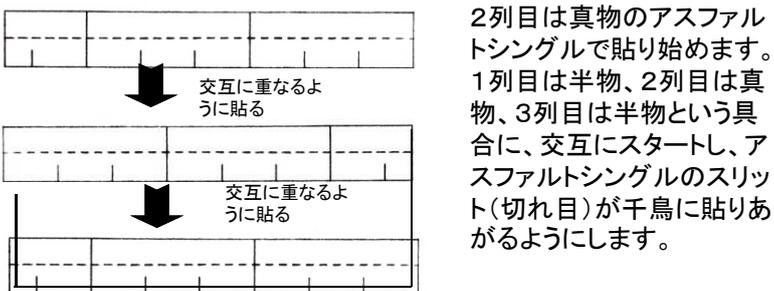
1 アスファルトシングルを貼り始めます。最初の一行は、上下を逆にします。左から右に貼っていき、妻側と軒先は15ミリくらい出るようにします。反対側で余りが出るので、15mm妻側から出たところをカットします。アスファルトシングルはシングルネールで4か所打ちます。



2 1列目と同じ位置にもう一列アスファルトシングルを重ねます。1列目は定尺で貼り始めているので、今回は真半分にカットした半物のアスファルトシングルを重ねはります。

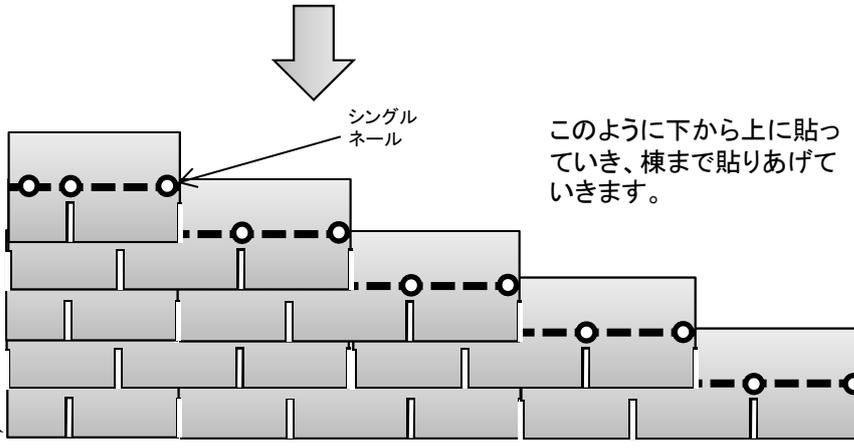


3 2列目は真物のアスファルトシングルで貼り始めます。1列目は半物、2列目は真物、3列目は半物という具合に、交互にスタートし、アスファルトシングルのスリット(切れ目)が千鳥に貼りあがるようにします。



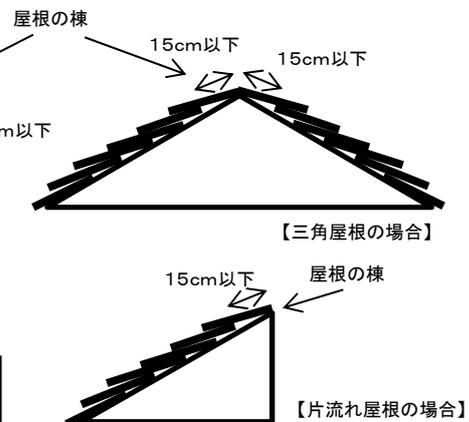
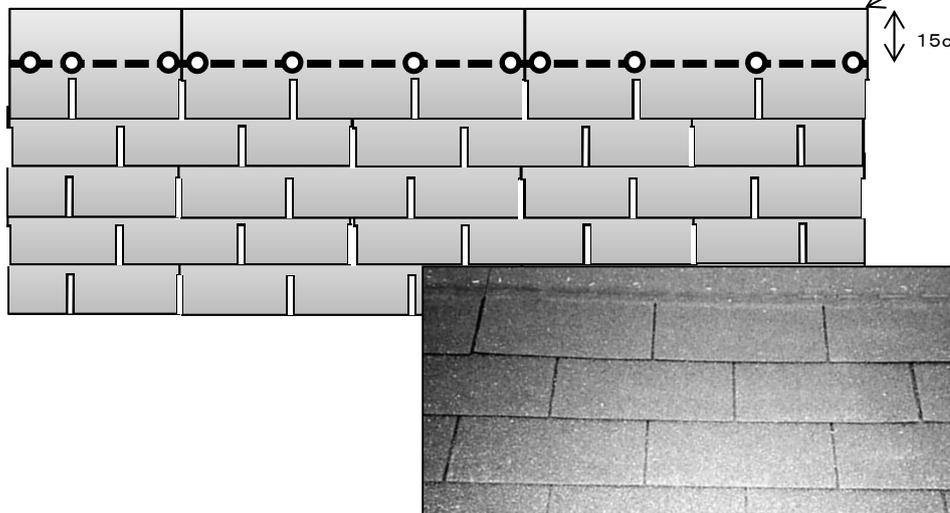
妻側、軒先より15mm程アスファルトシングルを出す。
15mm出す

破風より15mm程アスファルトシングルを出します。



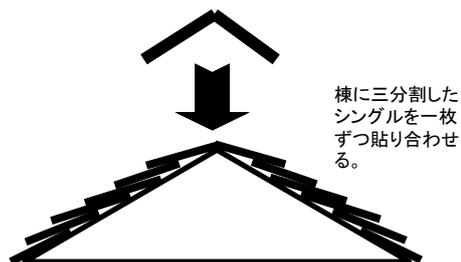
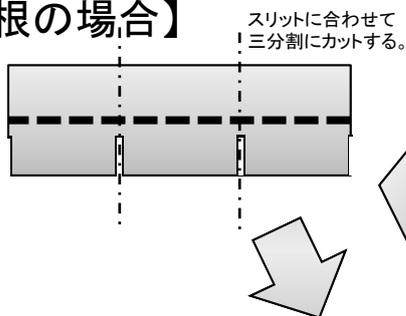
このように下から上に貼っていき、棟まで貼りあげていきます。

4 アスファルトシングルを屋根の棟まで貼りあげます。接着剤のラインから棟まで15cm以下になるまで貼りあげてください。

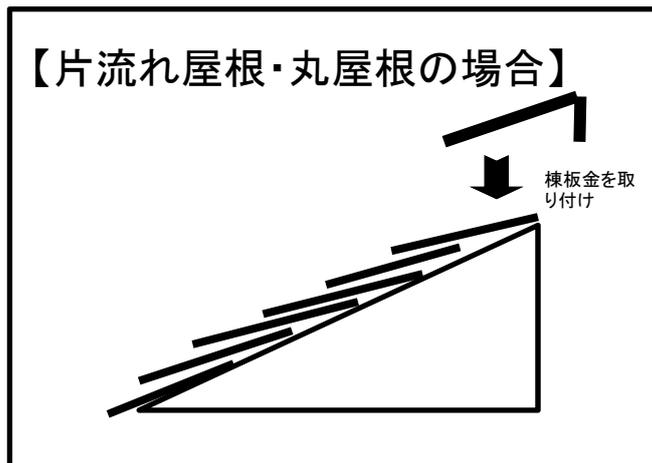


5 棟部分の屋根の取り付けを行います。片流れ屋根、丸屋根の場合は、板金で覆います。三角屋根の場合は、アスファルトシングルを三分割し、中央両側にかぶせるように一枚ずつ貼り合わせていきます。

【三角屋根の場合】



【片流れ屋根・丸屋根の場合】

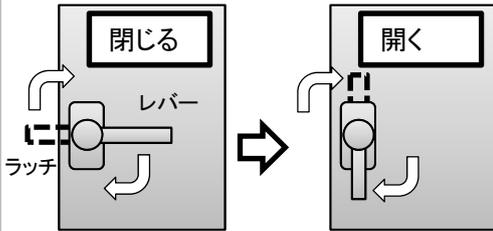
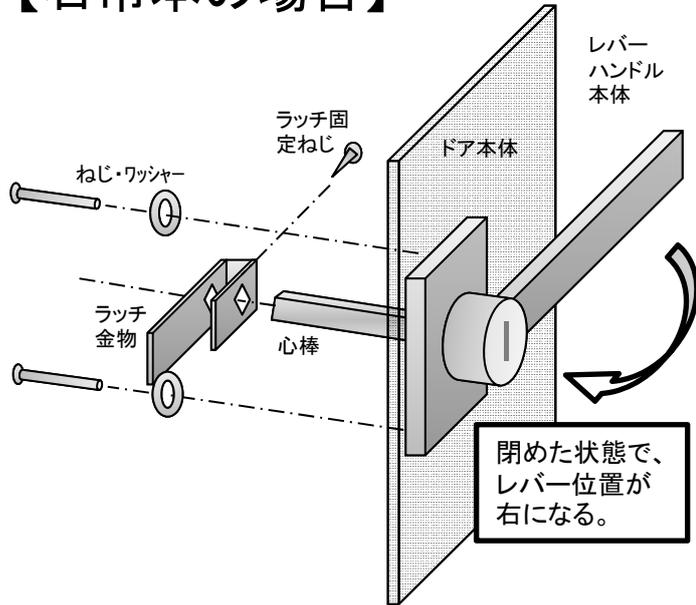


スタートの釘頭は見えません。2列目以降は接着剤のところに釘を打ちます。その次の列の端が接着剤のところにさぶさり、釘が見えなくなります。最後は接着剤の部分を切り取り、釘4本で貼り合わせます。



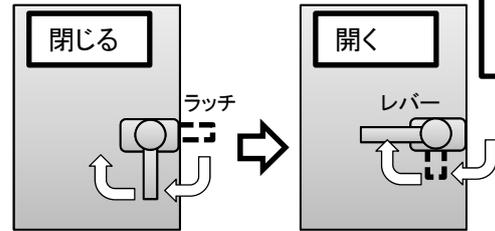
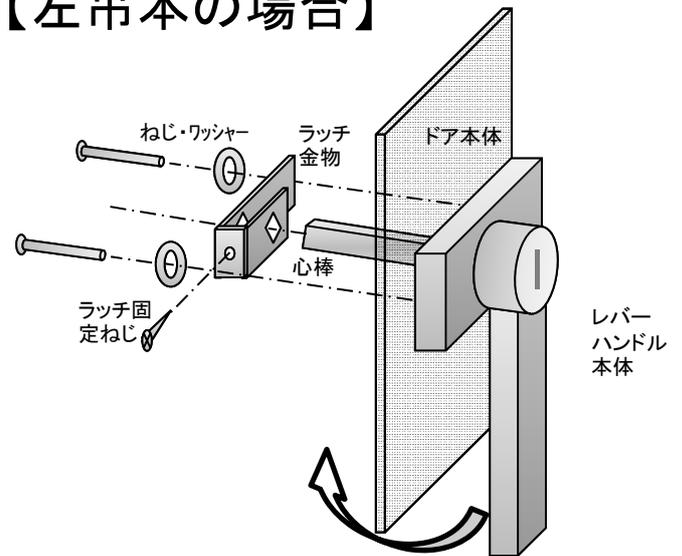
ドア取手の取付

【右吊本の場合】



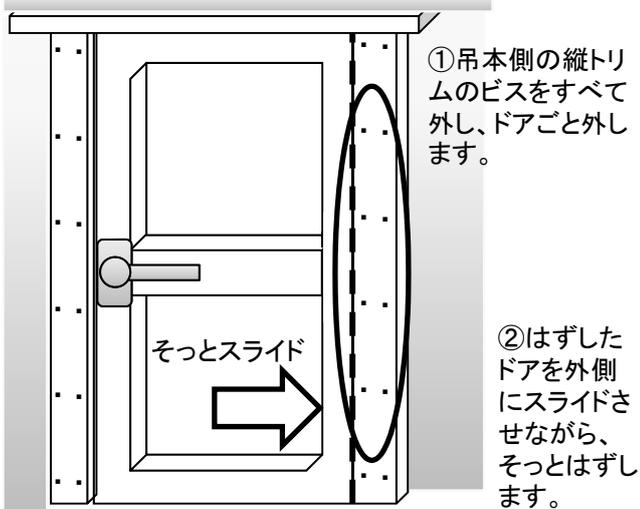
※右吊の場合は閉めた時にレバーが右側にきます。
また、レバーの台座は縦に取り付けます。

【左吊本の場合】

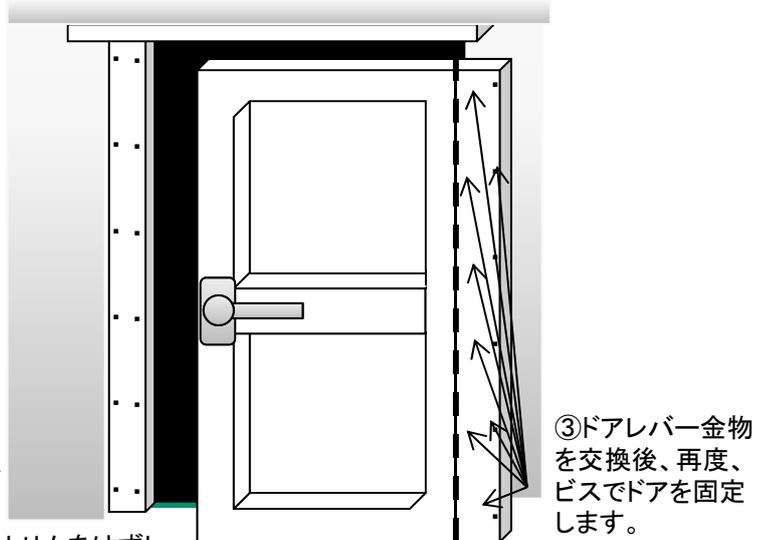


※左吊の場合は閉めた時にレバーが下側にきます。
また、レバーの台座は横に取り付けます。

【鍵が原因でドアが開かなくなった場合(両開・片開共通)】



②はずしたドアを外側にスライドさせながら、そっとはずします。



※両開きドアの場合は、ドアとドアの間のめし合わせのトリムをはずしてから、縦トリムのビスを外すとスムーズに作業ができます。

ドアの調整

■ステップ1

ドアのどこが渋くなっているかを確認

②ドアの上の部分と横がぶつかる→②へ

①ドアと上枠がぶつかる→①へ

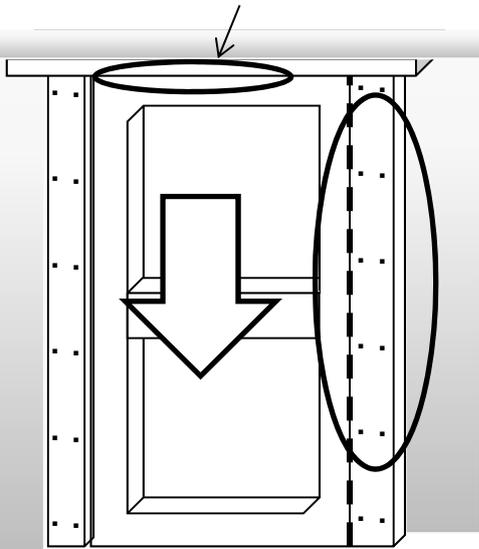


③ドアの下の部分と横がぶつかる→③へ

①ドアと上枠がぶつかる場合

ドアを下に下げます。

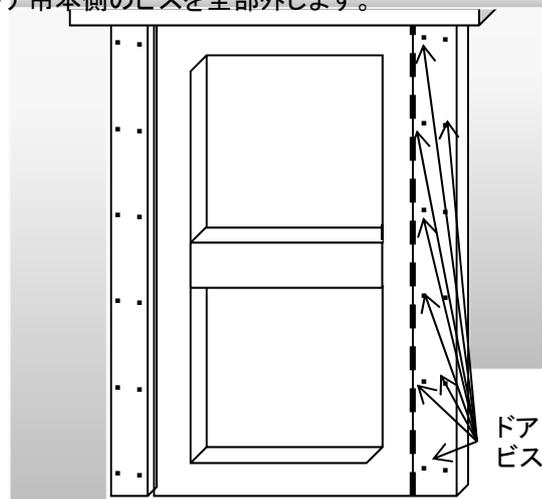
5mm程度さげて、ドアが上枠にぶつからない位置で、再び吊本側のビスを取り付けます。



ビス止めします。

■ステップ2

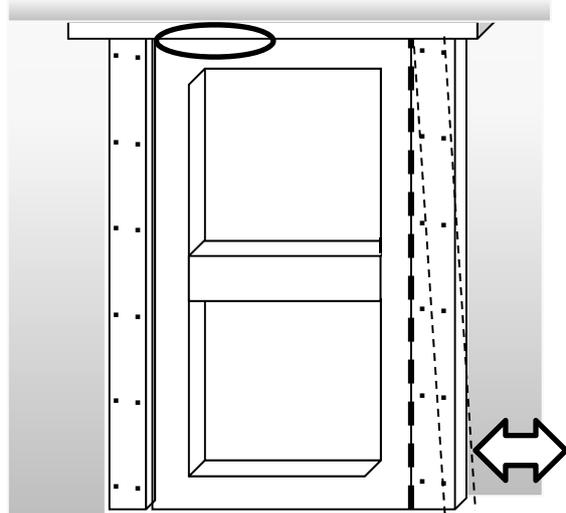
ドア吊本側のビスを全部外します。



ドア吊本側のトリムのビスを全部外します。

②ドアの上と横枠がぶつかる場合

ドアが上枠にぶつからない位置で、下枠を外にずらして、調整し、再び吊本側のビスを取り付けます。



③ドアの下と横枠がぶつかる場合

②の反対の要領です。上枠を外にずらして、調整し、再び吊本側のビスを取り付けます。

